

Well-being な社会の実現に向け新しい働き方・暮らし方である ワークエーションをさらに推進します

- JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「変革 2027」における「ヒトを起点とした価値・サービスの創造」を、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する「Well-being」の概念と結び付けて取り組みを推進し、お客さまのご期待と地域社会の発展に貢献する企業グループとして持続的な成長を目指します。
- その一環として、時間と場所にとらわれない新しい働き方・暮らし方である「ワークエーション」をさらに推進し、企業における人的資本経営の推進、分散型社会の実現や関係人口創出をととして、企業・人・地域社会の「Well-being」の向上に取り組みます。
- 具体的な取り組みとして、新幹線・宿泊・ワークスペースなどがセットになった繰り返し利用できる「JRE Workation Pass」を 2022 年 7 月 1 日より企業向けに販売します。JR 東日本グループは、企業がワークエーションを導入しやすい環境づくりのサポートを行っています。

1. 新たな企業向け商品の販売

新幹線・宿泊・ワークスペースが繰り返し利用でき、有識者講演などもセットになり、ニーズに応じて地域への訪問意義が生まれるワークエーション商品を企業向けに期間・数量限定で販売します。また、ご購入いただいた企業と共同でマーケティング調査を実施、活用することにより、企業のワークエーション導入に向けたサポートを行います。

- 商品名称：JRE Workation Pass
- 販売期間：2022 年 7 月 1 日～2022 年 12 月 23 日
- 利用期間：2022 年 7 月 25 日～2023 年 1 月 24 日
土休日・最繁忙期などを除いた期間
(新幹線・宿などサービス内容によって利用日が異なります)
- 販売サイト：JRE MALL ※購入には法人会員登録が必要となります
<https://www.jreastmall.com/jre-workation> (7 月 1 日予約開始)
- コース・宿：仙 台：ホテルメトロポリタン仙台イースト
軽井沢：軽井沢プリンスホテル
那 須：那須高原 TOWA ピュアコテージ

JRE
Workation ワークエーション **Pass**



■販売価格：1口あたり 仙台 200 万円 / 軽井沢 100 万円 / 那須 100 万円

※消費税・サービス料込

■商品内容：1口あたりの基本商品として新幹線往復 100 回、宿泊 30 回、STATION WORK 利用 150 時間に加え、地域での体験や二次交通などを提供します。その他、スポット開催する講演会などへの参加も可能となります。



2. ワーケーション向け個人商品の販売

列車と宿を自由に組み合わせ、仕事や観光にフレキシブルに対応できる 24 時間滞在が可能なワーケーションに最適な商品を JR 東日本グループのホテルにおいて 2022 年 6 月より販売します。期間限定特典として、館内利用券などが付き、各ホテルのご予約先着 10 名さまには新幹線 YEAR 2022 デザインのタオルもプレゼントします。(1 室あたり 1 枚)

■販売開始：2022 年 6 月 7 日～

■販売サイト：「びゅうトラベル」

https://www.jre-travel.com/feature/jreast_hotels/#longstay

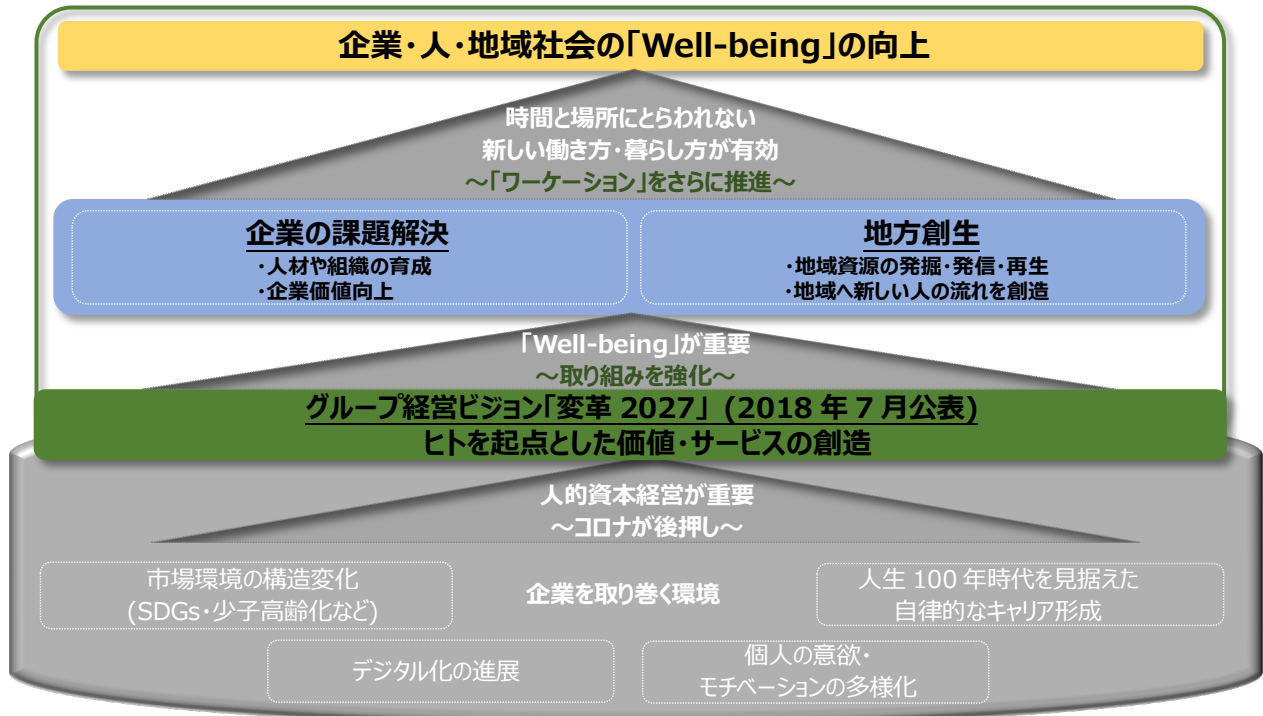
■対象ホテル：メトロポリタンホテルズ 12 施設

※販売価格については価格変動型商品のため、上記「びゅうトラベル」をご覧ください。



3. 「Well-being」を通じたワーケーションの目指す姿

企業を取り巻く環境が加速度的に変化し、持続的な成長に必要な人的資本経営の重要性が増す中、時間と場所にとらわれない働き方が求められています。JR 東日本グループは、地方創生にも寄与するワーケーションの取り組み推進を通じて、企業・人・地域社会に対し「Well-being」を高め、新たな価値を提供していくことを目指します。



■ ワーケーションの推進

時間と場所にとらわれない働き方であるワーケーションは、「Well-being」を高め、関係人口創出など地方創生につながることも期待されています。一方で、導入にハードルが高いと感じる企業もあり、これまで行ってきた企業向けのモニターツアーや個人向け商品の販売などの取り組みを拡大し、ワーケーションをさらに推進していきます。



■ 有識者によるコメント

予防医学研究者、博士（医学） 石川 善樹 氏

「人がよりよく生きる（Well-being）とは何か」をテーマとした学際的研究が専門



日本政府の「骨太方針 2021」に「政府の各種の基本計画等について、Well-being に関する KPI を設定する」という一文が入ったことや、人的資本経営の観点からも「時間や場所にとらわれない働き方」が国によって推奨されており、2022 年は Well-being 実行の年です。その意味でワーケーションは Well-being を高めるために有効であり、移動がパフォーマンスを高めるという研究結果もでていることから、交通事業者であり、地域と強い関わりを持つ JR 東日本の取り組みに期待しています。